

# とつきび

2017/3

No. 82

はっこう も がみ がくえん  
発行/最上ふれあい学園  
へんしゅう も がみ がくえんこうほうい いんかい  
編集/最上ふれあい学園広報委員会

やまがたけん も がみくん も がみまち おおあざとみさわ  
☎ 999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢 4467  
TEL 0233-45-2236(代)・FAX 0233-45-2011  
HPアドレス：<http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>  
Eメールアドレス：[mogamifg@vega.ne.jp](mailto:mogamifg@vega.ne.jp)



さいとう てんか  
◁ お柴灯点火



むびょうそくさい ねが さいとう  
無病息災を願いお柴灯

## 目次

- P 2 えん ちよう 園長あいさつ
- P 3 フォトコーナー
- P 4～5 ゆき 雪まつり
- P 6 ボランティア・寄贈、へんしゅう こう き ほか  
編集後記 他

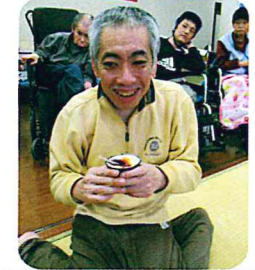


◁ 鬼出現  
おにしゅつげん



買い物支援  
みんなで買い物  
楽しかった～

いっほいっほ  
一歩<sup>2</sup>フェスタ  
で  
TVにも出たよ!



ガンバッヤ



メリー★  
クリスマス!

今年も  
サンタが来たよ!



グループ食事会  
～キムチなべ～



初詣



新春カラオケ大会



書初め

# 新年に寄せて ～利用者の思いを大切にする支援実践～

えんちょう おお ぬま せい じ  
園長 大 沼 清 司

新年あけましておめでとうござ  
います。平成29年が始まりました  
昨年は皆様のご協力をいただきましたま  
して、第7期基本計画のもとに、  
役員が一体となり、学園本体の  
利用者の快適な生活環境の整備を  
はじめ、「朋友館」改修工事・「私  
たちの家」スプリングクラス設置整  
備等、計画いたしました事業も順  
調に推進することができました。  
改めて御礼を申し上げます。

さて、今年も支援施設を取り巻  
く状況は、昨年に引き続き厳しい  
環境のもとでの施設経営となりま  
すが、職員一丸となり、利用者の  
幸福実現に向けて取り組んでまい  
ります。

特に西年の本年は羽ばたく一年  
であることを願い、第7期基本計  
画最終年のスローガンであります  
「思いを大切にする支援実践」を  
合言葉に、下記の事項を推進して  
まいりますので、倍回の支援をお  
願いたします。

**利** 用者の思いを大切に  
する支援実践

第7期基本計画最終年度に、計  
画のスローガンである、利用者の  
心に寄り添い、利用者の「思いを  
大切にする支援」を実践し利用者

中心の支援の実現を目指したい。  
意思決定支援も人権の尊重も相談  
支援も基本は利用者の声や、思い  
を大切にするのが出発点である  
今年も、利用者の声や思いを大切  
にして、安心、安全に、安定した  
生きがいのある日常生活を送るこ  
とができるように、一層チーム支  
援力を図っていきます。

**第8期基本計画(案)策定に  
着手**

第7期基本計画推進の最終年度  
である。1年目と前年度の2年目  
は、職員の理解と協力、役員の支  
援により計画通りに事業を推進す  
ることができました。これにより、  
利用者の生活内容や生活環境、職  
員の職場環境もレベルアップして  
いる。最終年度の本年度も、財政  
事情が厳しいところであるが、気  
を緩めずに計画実現に努力したい。  
平成30年度から3年間の事業運営  
(経営)の指針となる第8期基本  
計画(案)の策定に、社会福祉の  
現状や実情を見極め、職員全員の  
力を結集しその策定に取り組んで  
まいります。

**利** 用者の更なる理解と人権の  
尊重

昨年の7月に相模原市の障害者

支援施設で起きた痛ましい事件は、  
同じ支援施設として大きな衝撃を  
受けている。学園としても、この  
ような悲惨な事件が二度と起きな  
いように施設管理はもろろんこの  
と、障害への差別や偏見を解消す  
るために原点に返り、職員一人一  
人が利用者の理解を一層深め、更  
に志を高め利用者の人権を尊重し  
た支援実践できるように、もっと  
研鑽を積み支援力の向上を図る必  
要があります。

**職** 員確保の促進と幹部職員育  
成の強化

全国的に支援サービスの担い手  
で職員の確保が困難になってきて  
いる。当学園も同じ状況である。  
人材確保に向けた取組方法の改善  
や拡大、職員給与配分の見直し等  
を、新規に制定された人事管理規  
程等も生かし、事業の継続発展の  
大きな課題として法人と協力し進  
めていきます。

また、次代を担う幹部職員の育  
成と研修の充実、資格取得の支援  
強化やジョブローテーションのあ  
り方も模索しながら、積極的に推  
進を図ってまいります。

**施** 設整備、設備改修

第7期基本計画の推進の最終年  
度である。本年度は、計画に沿  
い高齢利用者の居住環境整備又、西  
棟の改修整備や安全対策を軸にし  
た設備の設置、また、地域福祉充  
実計画や地域のニーズを念頭に入  
れた事業施設整備等にも力をいれ  
ていきます。

**法** 人中期経営計画達成に全面  
協力

法人では国の社会福祉法人制度  
改革に対応すべく、今後の豊寿会  
経営の基本となる、第1期中期経  
営計画を策定しました。また人材  
確保や人材育成を促進するために  
新たに人事考課やキャリアパスの  
実施を含めた人事管理規定が新規  
に制定されました。

厳しい環境の下で多くの課題も  
あるが、地域福祉に貢献できる法  
人経営に大きな役割を占める学園  
としても、法人の経営計画や人事  
管理規程等の内容をよく理解し、  
その計画を前向きにとらえ、育成  
に向けて全面協力する必要がある  
と考えております。



上手に乗れる?



何オニ?出現!



ゆき  
雪まつり  
だい 第27回  
かい

冬の寒空の中でも、保護者の皆様や来賓の方々、利用者、職員の合わせて200名近くが参加され、変わりなく雪祭りが開催された事をここに感謝の意を述べさせていただきます。来年もこの会場で冬の一日を楽しみましょう。

ゆき  
雪まつり

2月11日(土)にふれあい学園を会場に第27回の雪祭りが開催されました。今年は近年まれにみる暖冬で学園のまわりも雪が少ない状況でしたが、バラエティーに富んだ雪像やかまくらが製作され、当日はいくくの雪模様でしたが会場では元気いっぱいに冬の一日を楽しむ姿が見られました。体育室での開会式の後には会場でのスノーモービルやスキー、ソリ滑りと様々なアトラクションがあり、みなさんの笑顔がはじけました。休憩には利用者のみなさんが希望していたお汁粉が振る舞われ、最後は御柴灯で終了しました。



青オニ出現!



イエーイ♥

ハイチーズ♡



あったかいおしるこ最高~♡

今年は何弁当!?



# 航空写真

上空から「最上ふれあい学園」をご紹介します！

最上ふれあい学園は、約8万㎡ある広大な敷地にあり、最上町ふれあいの里（最上町指定管理事業）、ふれあいの里「さくら」と一体的に、最上ふれあい学園拠点区分として運営しています。ヤマドリが翼を広げた形の本棟は平成元年に建設されたものであり、平成25年度には屋根の葺き替えと外壁の改修を行いました。本棟の周辺には生活訓練棟や作業訓練棟などの他、水田や畑、果樹園など緑あふれる自然環境と四季が感動できる素晴らしい施設です。詳しくは学園HPをご覧ください。

<http://vega.ne.jp/~mogamifg/index.htm>



## ご厚意に感謝

ありがとうございます

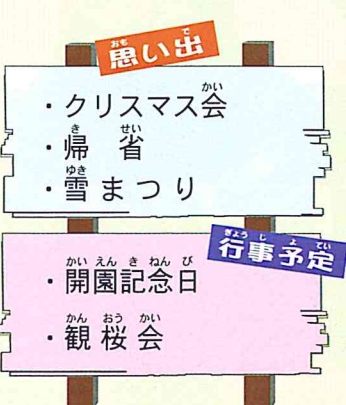


### 【寄贈】

- 12月17日 中村商店様（りんご2箱）
- 12月21日 マックスバリュ最上店様  
（ホールケーキ10個、ミカン3箱、菓子袋10個）
- 12月30日 伊藤 稔様（しめ縄、ポスター）

### 【訪問】

- 12月21日 マックスバリュ最上店様



より一層のご支援の程よろしくお願ひ致します。

雪祭りの成功をもって平成28年度の学園の大きな行事は全て大成功のうちを終了することが出来ました。これもひとえにご家族のみなさま、並びに地域のみなさまのおかげでございます。誠にありがとうございました。アメリカ大統領もドナルド・トランプ氏に変わり、世界中は図らずも大きな変革を迫られており先の見えにくい様相を呈しておりますが、学園はこれまで同様に来年度も皆様に愛される様努力してまいりますので、

## みそ作り

作業班を中心に味噌の仕込みをしております。煮だした大豆を麹、塩と混ぜ、味噌球にして樽に仕込み、来年度の収穫祭まで寝かせ販売いたします。毎年美味しいと好評いただいております。その工程の一端を皆様に御覧頂きます。



町内産の大豆、麹、塩を使用し、

## バスケットボール観戦

12月18日に一般財団法人山形県職員互助会様のご厚意によりパスラボ山形のバスケットボール観戦に行かせて頂きました。初めてのプロバスケットボールの試合観戦という事もあり、利用者さんは目を輝かせて精一杯応援して頂きました。貴重な時間を過ごす事が出来、この場をお借りしまして、お礼を申し上げます。



## 園内研修

12月13日に園内研修会として、AEDを用いた心肺蘇生法を行いました。AEDとは、突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器です。これが迅速に行われたかどうかでその後の生存率、後遺症の有無に大きな差が出てきてしまいます。不測の事態に備えて参加した職員全員が真剣に研修に臨んでいました。また同時に骨折時などに用いられる三角巾の使用法も勉強しました。学園でもこうした研修会を定期的に開催し、より良い利用者支援に繋がります。様今後も努力してまいります。



## 編集後記